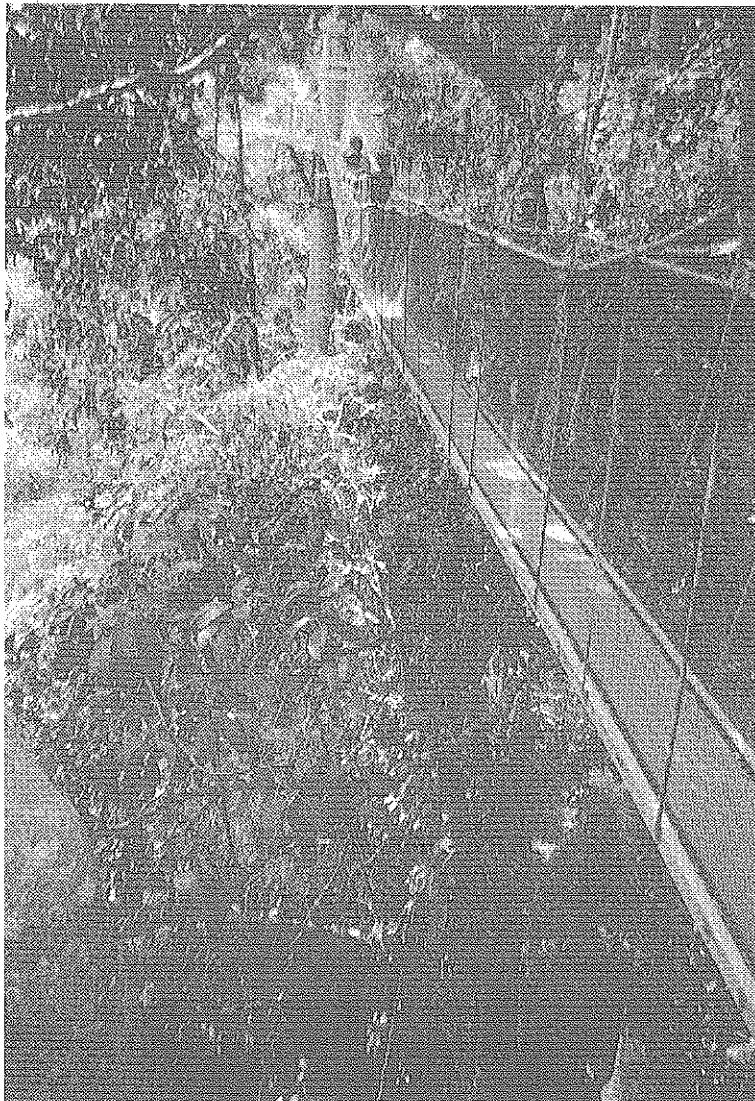


Save The Tropical Forests



森の通信

2003.3.25



CONTENTS

- ウェン活動の方針  
…… 3P
- 選挙権キャンペーン  
報告 4～7P
- 違法伐採新聞  
記事…… 8P
- ラミン調査会…… 9P
- ノルネオ島に行く  
② …… 10P
- 最近の木製家具を  
めぐる状況…… 12P
- 世界の森林問題  
ニコース…… 14P
- お便りから…… 15P

◀ サバ州・ポリン  
キバビル国立公園内  
のキャノピーウォーク  
(空中回廊)  
地上より30mぐらい



Watanabe

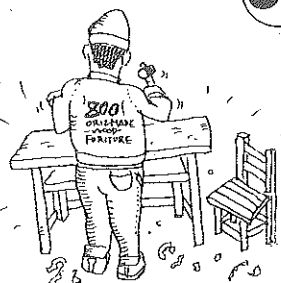
「イランとアフガンの学校へ木の机とイスを送ることをやってまわし！」ウータン 永田健一

● いつもウータン ご愛読ありがとうございます。

「ウータン」の編集をします 永田です。

私の仕事は家具づくりで無垢材をつかった別注ものです。もちろん 南洋材などは使いませんが……

昨年、新聞でアフガンに学校をつくる計画を知り、手づくりの机とイスを資材として送る活動をしてみました。大阪近郊の木匠自営者、個人の皆さんが賛同してくれてなんと2人掛木のセットが18setが出来る見込みです。4月上旬頃には神戸から船積み予定です。



◀アフガン学校建設資金のための絵葉書き  
神戸の設計士 菅弘利(43歳)さんの  
現地スケッチ集です。(8枚 1000円)  
資材、輸送費、建設費にあてられます。  
買って下さい! ウータン 永田までご連絡を!  
072-883-0224(昼) 072-881-4939(夜)

ウータン  
活動報告です。

- 2002・12-19 気候ネットワーク集會に参加、\*西岡
- 12-23 ラミン調査会、打ち合わせ、参加\*奥村、米澤、笠原、井下他
- 12-24 通信「ウータン66号」発送、
- 2003・1-7-9 サラワク州で、インドネシア材のサラワクへの違法貿易調査、\*西岡
- 2-2 ウータン総会、「違法材摘発・原生林保護キャンペーン」の継続決める。
- 2-13 「アースデイおおさか2003」第1回打ち合わせ、参加\*西岡
- 2-14 「選挙板の熱帯材不使用キャンペーン」で全国政令指定都市・県庁所在地都市の選挙板記者会見  
「73%自治体が再生紙ボード等へ変更」と発表、\*西岡、千代延
- 2-15 ラミン調査会、打ち合わせ、参加\*奥村、笠原、米澤、井下、西岡など
- 2-26 「アースデイおおさか」第2回打ち合わせ、参加\*西岡
- 3-1 ラミン調査会、ウータン、JATAN、JATAN名古屋、共同のラミン材の打ち合わせ
- 3-12 「アースデイおおさか」第3回打ち合わせ、参加\*西岡

※ 本誌は再生紙を使用しています。  
【表紙】新草木染・ハーブ(64.5kg、古紙40%)  
【中紙】パガス(55kg、非木材紙50%、古紙35%)

## 2003年ウータン活動方針－違法伐採、原生林破壊停止キャンペーンを

事務局長・西岡良夫

アジアの天然林は、第2次大戦後40年間で3～4割も破壊。天然林(原生林と二次林を含む)は年間1610万ha減で、熱帯で年間1520万ha減少。1420万haが伐採等の原因だ。

また違法伐採も続く。インドネシアで7割、ブラジルで8割等。2001年のインドネシアからマレーシアへ丸太の貿易量は、インドネシアの輸出報告が3000m<sup>3</sup>、マレーシアの輸入量の報告が71万5,000m<sup>3</sup>。明らかに違法貿易だ!今年1月も違法貿易を見た。

熱帯林の減少が温暖化・気候変動に拍車をかけている。『2002世界森林白書』も述べて、原生林の保護が一番温暖化防止に繋がる。今こそ、原生林保護の行動だ!

### 2003年方針

#### 1) 違法材・違法木製品・違法貿易停止への取組み

- ① 昨年に続き「自治体へ違法伐採材使用停止キャンペーン」を行う。県等を対象に。
- ② 「企業へ違法伐採材使用停止キャンペーン」実施。ゼネコン等へ質問予定、
- ③ 違法伐採問題、「停止宣言自治体・企業」の広報・反違法伐採の世論の形成化
- ④ 「インドネシア産ラミン材停止へ使用の自治体・企業キャンペーン」
  - a) ラミン調査会と国内ラミン材調査、b) インドネシア産ラミン材を使用の自治体・企業訪問・不使用を申入れ、c) 「不使用に応じない自治体・企業」をPR検討

#### 2) 原生林保全、熱帯材削減への働きかけ

- ① 「熱帯材不使用へ選挙板キャンペーン」を県庁所在地都市等へ働きかけ・今年早々に
  - a) 再生材不使用政令指定都市等へ働きかけ、b) 大阪ごみを考える会等と協力、
- ② 原生林保全へのPR
  - a) 自治体、企業へ申入れ・原生林材使用有無、型枠材総量、建築抑制、建築廃棄物など
  - b) 原生林保護PRの集会等・4月、10月世界熱帯林週間、c) HP、通信でPR
- ③ 政府等や国際機関等へ働きかけ・データ収集、調査報告など

#### 3) 国産材利用と違法伐採対策・原生林の保護へ行動の検討

- ① 「違法停止に有効」の「日本型森林認証木材」の利用PR、
- ② 国内の森林問題・林業問題に取り組むNGOや、自然保護的な建築家、林業者との連携、
- ③ 「枝打族」の継続 ④ 国内林問題学習会(9月か10月)、⑤ 古材・廃材利用の進め

#### 4) その他のプログラム・は要検討

- ① 世界の森林状況の調査等・a) 熱帯林伐採・熱帯材輸出入、b) ロシア、北米材調査
- ② WTO等貿易自由化問題の資料収集、③ 製紙用原生林破壊・アブラヤシ等資料収集、
- ④ 「森林どんぶり」休止、⑤ 国内・海外NGOの連携、⑥ 翻訳依頼、⑦ 協力者募集

#### 5. 財政問題、組織問題

- ① カンパ等依頼、② リーフレット作成、③ 物品販売で資金強化、④ 森の救援基金応募、

## 「選挙板の熱帯材不使用を!」キャンペーン

選挙ポスター掲示板は、熱帯材から再生材使用へ!

または国産間伐材使用へ!

--2003年は統一選挙! 全国で熱帯材不使用を--

政令指定都市、県庁所在地都市73%が再生材へ転換

30万人強の自治体9割が転換、合わせて計8割が転換

一出来るで!! 大阪府下自治体も2年で5割転換した!

私たち・ウータンは、世界の熱帯林の破壊を防ぐため、世界のNGOと連携をとり、関西を中心に活動している団体です。

90年以降、私たちの申し入れなどで、大阪や関西地域で各自治体は、公共工事に使用する熱帯材合板の使用削減の政策を取入れ、その後多くの自治体の建築関連の部署は、熱帯木材削減政策をしてきました。とてもすばらしいです。

しかし、部署が違う選挙管理委員会では、熱帯林の重要性を認識していないところが多く、選挙掲示板に熱帯材合板を多く使っています。すぐにするという「使い捨て状態」を見直すため、ウータンでは「選挙板の熱帯材不使用キャンペーン」をも行っています。

この取り組みは、ウータンの仲間の米澤さん(『世界の森を守れ』HP管理者)が2000年にインターネットで始めたものです。私たちウータン事務局では2001年3月より会全体ではじめました。

2001年の大阪府下の全自治体から返事がありましたが、熱帯材合板を選挙板に使った所が大半でした(回答率100%)。

それで2002年、他団体とも一緒に出来ればよいと、事務局で話し合った結果、大阪ごみを考える会からの申し出があり、大阪府各自治体など交渉したり、全国の政令指定都市・県庁所在地都市へアンケートを行ったり、さまざまな取り組みをして、「選挙板の熱帯材不使用への取り組み」をさらに広げています。

## 政令指定都市、県庁所在地都市、30万人都市の 80%が熱帯材合板から再生材へ転用の選挙板

政令都市や県庁所在地都市の73%以上が、30万人以上の都市の90%が、熱帯材合板から再生紙ボード、再生ペットボードに転換されたことは、大変喜ばしいことで、これは世界にPRしてもよいものです。私たちはこの結果を歓迎します。

熱帯林の減少は今も続き、FAO（国連食糧農業機関）によると1990-2000年でも天然林が年間1520万haも減り、植林は約150万haしかありません。しかも、植林は生態系を破壊する恐れのある早生樹が大半です。別の報告では、アジアの森林は1960-1990年に約30%が破壊されたと述べています。

WRI（世界資源研究所）の報告では、①商業伐採、②工業等への開発、③牧場・大規模プランテーションへの変換が破壊の7割の原因となり、残された森林が破壊されているのです。熱帯材の大半が、原生林を破壊して切り出されたものです。

日本へ輸入される熱帯材の丸太や製材の大半が建築用に用いられ、コンクリートパネルとして使用されています。ところがこのコンパネは、建設省調査で約2.5回で廃棄され、大半がごみとして燃やされています。昨年2002年のごみの排出量は、過去最高で、このままでは廃棄物が増える一方です。

選挙ポスター掲示板に使われる熱帯材は、すぐに廃棄されることが極めて高いものです。また熱帯材の選挙板の代替品への転用は、建築物での代替より容易です。

今こそもう一度ごみを減らし、熱帯林を守る取組みが必要です。循環型社会を目指すためにも、ごみをなくし、熱帯材合板から再生材や国産材に変えることが求められています。

まだ熱帯材合板から再生材や国産間伐材合板等に転換しておられない自治体に、私たちは再度お願いします。次年度から熱帯材合板から再生材に転換してください。ごみを減らすためにも、森林保護を実施するためにも、。。。。

2003年3月

ウータン・森と生活を考える会・事務局長 西岡良夫  
NPO法人大阪ごみを考える会・理事 森住明弘

## 73%の自治体が熱帯材合板から転換！

### 全国の政令指定都市、県庁所在地都市の

選挙ポスター掲示板回答一覧/2003年2月14日現在

(アンケート・聞き取り等による)

都市名	使用ボード等	都市名	使用ボード等
札幌市	再生紙ボード	青森市	熱帯材合板
盛岡市	再生紙(STボード)ボード	秋田市	今回から再生紙ボード
仙台市	再生紙(ST)ボード	山形市	熱帯材合板
福島市	再生紙(ST)ボード	水戸市	再生紙(STボード)ボード
宇都宮市	再生紙(ST)ボード	前橋市	アルミ板
さいたま市	再生紙ボード	千葉市	熱帯材(変更可時期不明)
東京都	再生紙ボード	横浜市	再生紙ボード
川崎市	再生紙(ST)ボード	甲府市	熱帯材(変更可時期不明)
長野市	再生紙(ST)ボード	新潟市	アルミ板
富山市	再生紙(ST)ボード	金沢市	再生紙(ST)ボード
福井市	今回より再生紙ボード	静岡市	再生紙(ST)ボード
名古屋市	再生紙(ST)ボード	岐阜市	再生紙(ST)ボード
津市	アルミ板	大津市	再生ペットボード
京都市	熱帯材(変更可時期不明)	大阪市	熱帯材(変更可時期不明)
神戸市	再生紙(ST)ボード	奈良市	再生ペットボード
和歌山市	再生紙ボード	岡山市	再生紙(ST)ボード
広島市	再生紙(ST)ボード	鳥取市	再生紙ボード
松江市	熱帯材(変更可時期不明)	山口市	熱帯材合板
徳島市	熱帯材合板	高松市	熱帯材(変更可時期不明)
高知市	再生ペットボード	松山市	アルミ板
北九州市	再生紙ボード	福岡市	再生紙(ST)ボード
佐賀市	再生ペットボード	長崎市	アルミ板
熊本市	熱帯材(変更可時期不明)	大分市	アルミ板
宮崎市	熱帯材合板	鹿児島	熱帯材(変更可時期不明)
沖縄市	アルミ板(リース)		
		計	13/49(転換率73%)

熱帯材合板使用 13自治体——千葉市、京都市、大阪市、鹿児島市、宮崎市等

政令指定都市、県庁所在地都市以外の 30 万人以上の都市の

選挙ポスター掲示板状況

(2003年3月13日現在)

## 30万人以上の大都市90%が再生材へ転換

自治体名	使用材	自治体名	使用材
旭川市(36万)	熱帯材合板	いわき市(36万)	4月～再生紙ボード
郡山市(33万)	再生紙ボード	船橋市(54万)	再生紙ボード
柏市(32万)	再生紙ボード	松戸市(47万)	再生紙ボード
市川市(44万)	再生紙ボード	川口市(45万)	再生紙ボード
川越市(32万)	再生紙ボード	所沢市(32万)	熱帯材合板
町田市(36万)	再生紙ボード	八王子市(53万)	アルミ板
横須賀市(43万)	再生紙ボード	藤沢市(37万)	再生紙ボード
相模原市(57万)	再生紙ボード	浜松市(56万)	再生紙ボード
豊橋市(35万)	再生紙ボード	岡崎市(32万)	熱帯材合板
豊田市(34万)	アルミ板	高槻市(36万)	再生紙ボード
吹田市(34万)	再生紙ボード	豊中市(40万)	再生紙ボード
堺市 (80万)	4月～再生紙ボード か、再生ペット板	枚方市 (40万)	4月～再生紙ボード か、再生ペット板
東大阪市(52万)	再生紙ボード	寝屋川市(32万)	再生紙ボード
尼崎市(49万)	再生紙ボード	西宮市(39万)	再生紙ボード
姫路市(47万)	再生ペット板	倉敷市(42万)	再生ペット板
福山市(36万)	再生ペット板	計* 3/31(90.3%)再生材へ転換	

政令指定都市、県庁所在地都市とそれ以外の30万人住んでいる大都市は、合計80自治体であり、そのうち熱帯材合板から転用した自治体が64自治体。80%が転換。それに対し、この4月から旧来の「方法」で、今でも原生林を破壊して輸入された熱帯材合板の選挙掲示板を使用している自治体は16。まだの自治体は至急、転換していただくようお願いします。また、熱帯材合板の選挙板を使用している自治体に住まれる方は、自治体へ転換を申し入れるようお願いします。

全国木材組合連合会（久我一郎会長）はこのほど「森林違法伐採問題に関するアンケート調査結果報告書」をまとめたが、それによると違法伐採された木材が日本に輸入されているか、の設問に対して「思う」と答えた者が69%、思わない、が3%で多くのものが違法伐採された木材が輸入されていると認識していることが分かった。また違法伐採の疑いのある場合の取引については「取引しない」が52%、「取引する」の合計が46%で意見は真二つに分かれている。明らかな違法伐採となると「取引しない」が73%にまでアップする。

# 違法伐採輸入、60%超が存在

## 疑惑材取引で意見割れる

### 国際協力の必要性指摘

調査は昨夏に壬二ターを送付し実施。製材業86、流通業65、その他13の164の回答を得た。国産材と外材扱い業者に分けると国産材77、外材61。

まず違法伐採に対する認識について聞くと、よく知っている（29%）と、少しは知っている（63%）を合わせれば92%にのぼり業界内ではほとんどの人が知っていることが分かった。違法伐採された木材が日本に輸入されているかと思うかどうかでは3分の2以上の業者が「輸入されている」と思う者が、輸入されていると思

う」と答えており、ほとんどの業者が違法伐採材が輸入されていると認識、違法伐採は極めて身近な問題と

なっている。自らの扱っているなかには違法伐採材がある、は12%にとどまっている。違法伐採の疑いのある材

に分らない、42%、あに増える、このことから違法伐採を抑制するにはその材が違法伐採材と特定することが有効なことが分か

る。分らない、42%、あに増える、このことから違法伐採を抑制するにはその材が違法伐採材と特定することが有効なことが分か

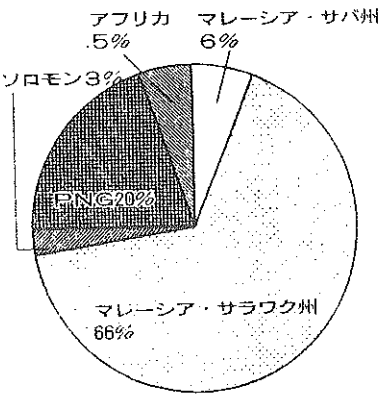
### 全木連アンケート調査

の取引では「取引する」と「取引しない」がほぼ半ばずつ、これが明らかな違法伐採材となると「取引しない」が73%で「取引する」の合計が26%となり、「取引しない」と答えた業者が一

気。反対」は合わせて3%にとどまっている。NGOが生産・輸出を壬二ターリングする動きに対しては「方法にもよるが基本的に賛成」（53%）、「賛成」（28%）と賛成が圧倒的。全木連の違法伐採への対応では、全木連が国際問題にかかわることには反対、はセロ、色々な意見を聞くべき、や業界対応のPR活動を望む声が多かった。また全木連の国際社会への具体対応については米国の林産物協会などと同様の、国際社会へのアピールに向け声明を出す、が79%、逆に声明は慎重にすべき、は15%にとどまった。

の取引では「取引する」と「取引しない」がほぼ半ばずつ、これが明らかな違法伐採材となると「取引しない」が73%で「取引する」の合計が26%となり、「取引しない」と答えた業者が一気。反対」は合わせて3%にとどまっている。NGOが生産・輸出を壬二ターリングする動きに対しては「方法にもよるが基本的に賛成」（53%）、「賛成」（28%）と賛成が圧倒的。全木連の違法伐採への対応では、全木連が国際問題にかかわることには反対、はセロ、色々な意見を聞くべき、や業界対応のPR活動を望む声が多かった。また全木連の国際社会への具体対応については米国の林産物協会などと同様の、国際社会へのアピールに向け声明を出す、が79%、逆に声明は慎重にすべき、は15%にとどまった。

02年熱帯材丸太の産地別入荷割合



る。明らかな違法伐採材でも「取引する」と答えたものに、その理由を聞くと、トップは「自分だけ取引しないわけにはいかない」、で45%、次いで「法的に禁止されていないから続ける」が23%となった。国際社会での違法伐採問題では、環境保全の観点から国際間の協力が必要、がトップで46%、次いで、永続的な木材供給のため積極的に協力すべき、で36%、第3位は、生産国で措置を講じるべき、の14%、積極的な対応を求める声が高い。日本が取るべき対策では意見が分かれた。「取引を法的に禁止する」、37%、「モニタリングを強化し、国際的ルールを作成」、27%、「生産国に協力する」、24%、そして「木材業界が取り扱い自粛する」、10%など。違法伐採の抑制・解決策のひとつである民間の森林認証・ラベリング制度では慎重な見方が目立った。約3分の1の65%が「制度をみないと何ともいえない」と答え、制度ができればコストアップになっても取引する、は約4分の1の27%。

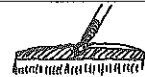


## ラミン材は、ほうきやモップの棒、額縁などに使われている！

国、地方自治体、企業、消費者、全ての方々へお願い致します。

### 貴重樹種ラミン材を代替材にしてください。

ラミンは、オランウータンの棲む森に生える貴重樹種です。



#### 《ラミンはどんなところに生えているの？》

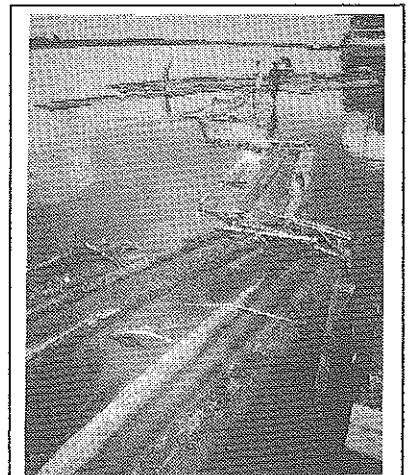
ラミンは、熱帯の沼地（インドネシア、マレーシア、ブルネイ）に生育しています。マレーシア・サラワク州では半世紀前から伐採され、過剰伐採で1980年に同州でラミン類の丸太輸出が禁止されました。インドネシアでも過度に伐採されていました。インドネシア・カリマンタンのタンジュン・プティン国立公園は、オランウータンやその他珍しい動物が棲んで、世界自然遺産にも登録されています。その地からもラミンを違法に伐採していたのです。

#### 《2001年4月インドネシア政府はラミン材伐採・取引禁止へ》

国内外の世論で、2001年4月インドネシア政府は、ラミン材の伐採・加工・取引の一時停止の法令を定めました。5月12日に禁止令が施行されました。

#### 《ラミン、2001年8月ワシントン条約付属書Ⅲに登録》

2001年8月、インドネシア政府は、貴重樹種としてラミンをワシントン条約付属書Ⅲへの登録を行いました。今回の登録で、許可書なしのインドネシアから輸出のラミン材は違法です。また、インドネシア以外の国からの輸入には原産地証明が必要です。



違法伐採で財を成したRasyid 所有の製材所の隣に、違法伐採されたラミンの丸太が積たわる。  
(インドネシア・タンジュンプティン近く)

#### 《ITTO でインドネシアの違法伐採禁止、WSSD 等で世界の木材違法取引禁止》

2001年9月『森林法の施行に関する東アジア閣僚会議』で、違法伐採問題に対し輸出国・輸入国双方が取組むことを合意し、同年11月国際熱帯木材機関（ITTO）理事会で、「インドネシアの違法伐採対策」が決議されました。日本政府らが、違法伐採へ取組み推進することで、2002年8月からのヨハネスブルグ・サミット（WSSD）でも「林産物の違法な国際貿易の対処」「森林法規の実行」が合意しました。同年6月のG8（先進国首脳会議）で、「違法伐採された木材・関連製品の輸出入排除に向けた取組み」が合意です。

#### 《ラミン材の用途は——ほうきの棒、ドア、窓枠、額縁、鏡縁、階段材、園芸具など》

現在も、インドネシア産のラミン材が日本で販売されています。ラミン材はドア、窓枠、階段材、クローゼット、額縁、鏡縁、ほうきの棒、造り付け家具の枠、園芸具、スリッパラック、ベッド、などに売られています。この貴重なラミン材を代替材に転換してください。

ラミン調査会 ウータン内（電話）06-6372-1561（電子メール）fwpc3808@mb.infoweb.ne.jp

# ボルネオ島に行く 一原生林と先住民らの薬草 を探して②—サバ州ポーリン

東 悪男

【ついに見た！ 吹き矢の矢毒に使う薬草】

ボルネオ島の朝は早い。

5時過ぎに、ロッジの前の民家の鶏が、けたたましく鳴いた。起こされて便所に行くと、見知らぬ甲虫が裏返っていっぱい死んでいた。

水浴びをしてから、朝が始まる。

ロッジのゲートを出て、レストランでサバ州ポーリンの奥地の山々を眺めた。緑のじゅうたんに囲まれた山に光がさす。

私は食事を作る赤子を抱いた女性に聞いた。

「あの奥の山々に行きませんか。」

「さあ、村の人間もみんな遠くまで行かないし、私も少しだけしかわからない」と彼女が答えた。道がわからないなら仕方ない。次回だ。

朝食のナシゴレン（焼き飯）を終え、再度ロッジのゲートに入る。そこで見つけたのが、アリ（Ari）だ。

ガイドのK氏は「これはイチンと同じく痒み止めに効く」と。アリは木へ10mほど絡む。

バッグを持って、私たちはキャノピーウォーク（頭上の樹冠歩行）へと向かう。太陽は高く上っているのに、熱帯の林は暗がり広がる。

その中で、ある毒に使う薬っぱを見つけた。



ロープになるメンガリスの大本

「吹き矢の先の矢毒に使うウジュン・パヤン（Ujung Payang）だ。これも薬草。サラワクやサバ州の先住民は、動物や鳥を狩猟するために吹き矢をよく用いる」とK氏がいう。

私は、『ボルネオの森に秘薬を求めて』という本にあった矢毒に使う薬草をふと思い出した。

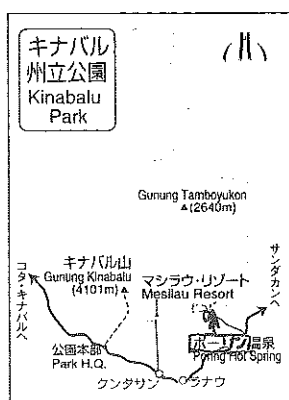
「20数種類のものがあると本に書いてあったが、マレーシアのボルネオ島では、どのくらいの種類があるのか。」

先住民のガイドK氏は明瞭に答えてくれた。

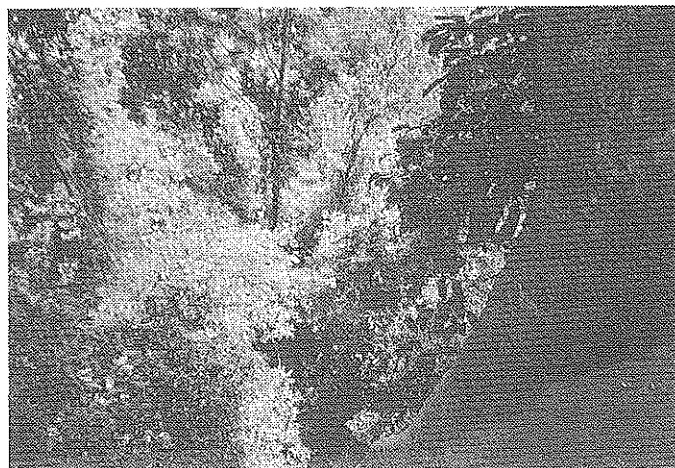
「サラワク州やサバ州の奥地の原生林では、毒性の薬草は、およそ30～100種類ほどだ。小さな原生林では10～20種類ほどだろう。吹き矢の矢毒に使うものもいろんな薬草がある。ポーリンには数種類しかないかもしれない。森が小さいから。」

毒性のある薬草は、魚を取るためにほんの少しの時間を麻痺させる毒性の弱いものもある。毒性のある薬草でも、毒性がゆるいものや、毒性がかなりあっても効く時間が短い薬草もある。

一方毒性が強く、吹き矢で一回当たれば即死に近いものなどもあり、さまざまだ。毒性の薬草といっても、すべて使い方が違う。樹液や、根茎を使うもの、果実を使うもの、いろいろだ。」



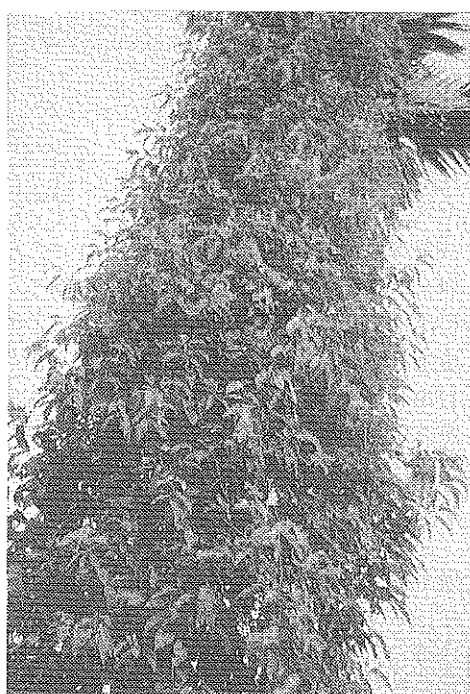
サバ州



キャノピーウォークから見た林床



矢毒となるウジュン・パヤン



アリ (Ari) ~かゆみ止めの薬草

私たちは、キャノピー・ウォークの入り口近くで猛毒のグリーン・スネークを見つけた。

K氏はすばやく棒で毒蛇を一撃し、ナイフで止めを刺す。それだけでなく、殺した蛇を道から外れた草むらのほうへ。手馴れたものだった。

キャノピー・ウォークを登り始める。網の下に熱帯林が見える。何種類もの植物。林層は複雑で、林の床まで見えない。

揺れるキャノピー・ウォークの途中で、K氏は指をさす。ツル植物が下部に絡みつく大木だ。

「これはメンガリス (Mengarlis)。先住民はこの木を使う。丈夫なロープになる。

その他、大木もいろんな使い道がある。例えば、アイロンツリー (Iron Tree) はボルネオ鉄木と呼ばれ、雨に強く屋根の瓦のかわりになる。レッド・メランティは船も使う。さまざまだ。だが、伐採で木々が激減した。先住民にとって森林破壊は、生活苦を引き起こすものだ」と。

キャノピー・ウォークを終え、林床を歩く。

ニヤティン (Nyateng) だ。これは火を起こす時に用いる。次に見つけたのがレシィ (Lesei)。これは葉が止血剤になり、いぶすと虫除けになる。この樹の20年以上のものは火を起こせるという。その他、60種ほどの薬草を見た。

【貧弱な林層は薬草も少ない】

2002年3月、私たちは、またポーリンへ向かう。4回目だ。サバ州首都コタキナバルからラナウまでバスで4時間。ラナウから1時間。

今回、ポーリンの森へは、いつもの道と違うところを踏み入る。ゲートの外から見て、原生林と思ったところだ。しかし奥へ行くと、二次林だった。仕方なく、奥へと歩く。

動物のケモノミチも見つけたが、林層は極めて貧弱だ。土壌のほうも腐葉土が少ない。

はじめに見つけたのが、ウジュン・ゲナティン (Ujung Genaten)。野菜になるというものだ。次に見たのがシントボ (Sin-Tobo)。これは虫刺されに効く。他は胃痛に効くスプレイ・プアンなど20種類ほどで、余りにも薬草が少なく、調査を1日で打ち切った。

今回ひとつ判ったのは、二次林など貧弱な森では薬草が少ないということだ。もうひとつは、前回見たところで、痒み止めに一番効くイチン (Itching) が見られなかったことだ。なぜだ。

サバ州ポーリンに来て調査したが、薬草は約80種類弱だった。それで私は、他の比較対照となる地へ行くことにした。 (つづく)

## 最近の木製家具をめぐる状況

柏木美智子

家具も以前は、地元の需要は地元でまかなっていて、今から 50 年前の戦後間もない頃は、リヤカーに家具を積んで得意先を廻ったというほど販路は限られていました（大阪府家具商業組合『創立 40 周年記念誌』1998 年）。ところが、その後、高度経済成長による所得の増大に、生活様式の洋風化、核家族化の進展、住宅着工戸数の増加などが加わって家具の需要は激増し、それに伴い大川（福岡県）、府中（広島県）、静岡、旭川をはじめとする数十の家具産地が台頭して、販路は全国に拡大しました。木製家具の出荷額は年々増加し、家具需要が一巡した後も、そして 1970 年代のオイルショックも乗り越え、バブル期の 1991 年に 2 兆円を超えてピークを迎えます。家具メーカーの成長とともに、材料の調達も国内から海外、特に熱帯の木材へと移行していきました。たとえば、大川の場合、外材の使用は、1950 年代末に 2～3 割だったのが、60 年代半ばに 8 割以上、90 年代には 9 割以上となっています。

### 増え続ける輸入家具

しかし、出荷額が最高額を記録したときから、家具の完成品や部分品の輸入は少しずつ増えていました。すでに 1980 年代後半には、国内の家具業界は東南アジアからの開発輸入を始めていたといえます（黄完晟『日本の地場産業産地分析』税務経理協会、1997 年）。輸入家具（完成品）の状況を見てみると、1990 年には国内出荷 100 に対して輸入が 4 だったのが、バブル崩壊後も増え続け、1996 年には輸入が 9、2000 年になると 14 と、増加の傾向が続いています。

ところで国内での家具の製造は、バブル崩壊後、縮小が著しくなっています。2000 年の木製家具出荷額は、ピーク時の 6 割弱にまで減少しているのです。ただ

し、家具の出荷額が減少に向かっているのには、輸入家具の増加だけではなく、近年の景気後退に加えて婚姻数の減少、住宅着工数の減少などにも原因があるとされています。

### 増え続ける中国からの輸入

このように、木製家具の市場は全体的に縮小の傾向にあるとはいうものの、家具の輸入量は増えています。木製家具の輸入先を見てみましょう。2001 年の木製家具輸入額を調べると、アジア諸国からの輸入が 80%、ヨーロッパ諸国が 15%となっており、アジア諸国のなかでは、中国が最も多く（全体の 27%）、タイ（同 18%）、マレーシア、インドネシア、台湾と続いています。中でも中国は、前年の輸入額に比べ 46%増加しているのですが、これは、台湾をはじめとする他のアジア諸国の工場が中国に生産拠点を移転した結果とされています（『家具年鑑 平成 14 年版』経済通信）。インドネシアは寝室用木製家具の日本への輸入でトップ、タイは台所用木製家具でトップとなっています。これらのアジア諸国から輸入が急増したのは 1990 年代前半のことですが、国別で見ると、輸入の増加が特に顕著なのはベトナムです。

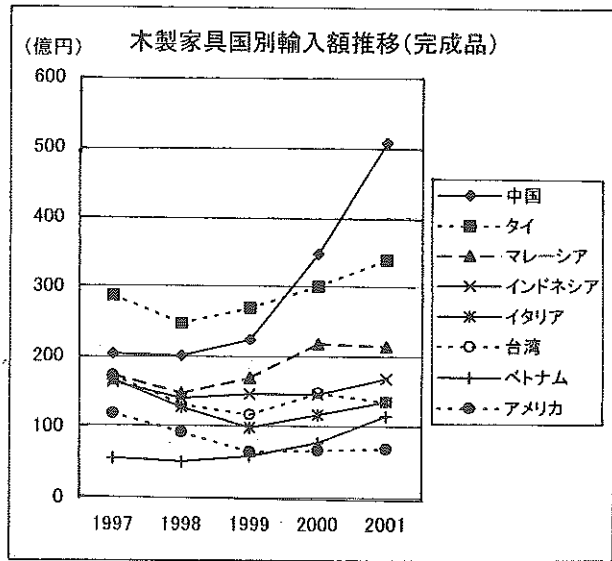
〔木製家具の国内出荷額と輸入額〕

	国内出荷額等 (百万円)	家具(完成品) 輸入額(百万円)
1989(平成元)	1,959,600	65,000
1990(平成2)	2,074,404	80,300
1991(平成3)	2,113,235	79,100
1992(平成4)	1,993,787	77,900
1993(平成5)	1,852,669	75,900
1994(平成6)	1,759,529	105,800
1995(平成7)	1,742,072	125,500
1996(平成8)	1,731,010	159,900
1997(平成9)	1,683,281	168,200
1998(平成10)	1,442,671	141,600
1999(平成11)	1,261,720	137,420
2000(平成12)	1,177,097	164,700

・国内出荷額等：『工業統計表 産業編』

・木製家具（完成品）の輸入額：『日本貿易月表』

◆この原稿は JATAN NEWS  
 N654より転載させて  
 いただきました。ありがとうございました。



### 家具にも違法伐採材？

原材料である木材の産出国では、違法伐採問題は依然として深刻です。熱帯の木材が直接日本に運ばれて製品化されていたのが、第三国で家具になってそれが日本の店頭と並ぶようになると、木材の流通ルートはますます複雑になってきます。台湾や中国といった新たな製造現場での違法伐採木の使用状況についてはよく分かっていませんが、熱帯材の産出国においては、家具にも使われるチークや紫檀などが違法に伐採されている現状が明らかにされています(EIA・TELAPAK INDONESIA『TIMBER TRAFFICKING』2001年)。

カンボジアでは、1997年の1年間の違法伐採は、公的な統計の10倍に相当する400万立方メートル以上にのぼり、2000年に入っても、ラオス、タイ、ベトナムなど近隣諸国への違法な木材輸出(約13万立方メートル)が報告されています。ベトナムでは、1996年にカンボジアからの木材輸入を禁止したにもかかわらず、1998年までに、カンボジアからの違法材を満載したトラックが毎日70台、国境を超えてベトナムに運ばれました。これらの多くがテラスなどに置かれる家具(ガーデンファニチャー)としてヨーロッパに輸出されていたのです。ベトナム国内でも、保護地域からの違法伐採木が毎年100万立方メートルに達しているとされています。

ラオスの森林被覆率は1940年代には国土の70%だったのが、今日では40%以下にまで低下していますが、その原因の大部分が違法伐採によるものと考えられています。ラオスはチークの輸出を禁止していますが、それにもかかわらず、違法伐採が横行しています。チークそして紫檀の主な輸出先は、ほとんどの場合、タイであるとされています。ラオスの統計によると、タイへの輸出量は、タイ政府が発表しているラオスからの輸入量の半分にすぎないとのこと。

タイでは、ビルマと国境を接している地域で、タイ国内の国立公園などから盗んだ違法伐採木を、ビルマからのものと偽ることがまかり通っています。1998年には、サルウィン国立公園内で伐採された13,000本のチークが、ターク州のある製材所で見つかり、その製材所は操業停止処分を受けました。しかしその後の検査で、没収された丸太のうち4,000本が行方不明となっていたことが明らかになりました。サルウィン国立公園からこれまでに1,500万本のチークが違法に伐採され、2,700万ドル(約32億円)相当の賄賂によって、タイ産のチークをビルマ産材と偽った書類が作成されてきたと推測されています。

遠い国の違法行為やそれに伴う森林減少が、私達の日常生活と無関係ではないという状況は指摘されて久しいですが、生産拠点の第三国への移転が今後も増加していくと、木材の流れをたどることが一層難しくなるでしょう。国産材の家具をリヤカーで配達した時代はほんの数十年前なのに、随分大昔のことに感じられます。この速すぎる変化に、人間の頭はついていけないのでしょうか、森林再生の努力はまだ間に合うのでしょうか。

【全木連、「違法伐採対応」を声明、調査】

11月20日、全国木材組合連合会は、連合会の木材業界に「明らかに違法伐採され、不法輸入の木材を取り扱わない」声明を表明。全木連は12月、180木材業者に「森林違法伐採問題アンケート」出す。

「アンケート」結果は、①業者の9割が違法伐採を知っている、②7割の回答者は違法材が日本に輸入と思う、③扱っていると思うは1割、④明らかに違法も取引せざるを得ないが26%、取引しないが72%、⑤違法取引を法的に禁止が37%、業界が扱い自粛宣言が11%、モニタリングの強化が27%、生産国に協力が23%となった。(全木連HPより)

【インドネシア、輸出回復に林業再生庁設立】

12月13日、インドネシアのリニ商工相とプラコザ林業相は、木製品の原料管理で、継続的な供給と森林保護を目指し、林業再生庁を設立すると署名。

商工相は「インドネシアで林業は400万人が従事。輸出回復が必要」とのべた。違法伐採や密輸で木製品原料不足が深刻化し、同政府は1昨年、丸太輸出禁止を継続。2002年から合板等の業者間に丸太の生産・輸出監視機構を設立と。(資料:JATAN等)

【インドネシア、違法伐採で森林被害認める】

2003年2月6日、インドネシア林業相は「国内で違法伐採損失が6億ドルに上り、これは年間森林管理にあたる額だ。森林の多くは、違法伐採の被害を受けている。輸入している国は取り締まり強化し、違法材の輸入防止の必要性がある」と述べた。

「インドネシアの森林1億2千haのうち3分の1が破壊され、違法伐採を禁止したが、現地の権力、軍などがこれに関わることが多い」と。

(2月7日 Associated Press より)

【サラワク州ブナン人、次々と伐採反対裁判】

1月8日、14-15日、ブナン人は原生林保全ヘシンヤン木材会社等を相手取る裁判を行う。1つの裁判は12月結審見込み。(現地聞き取り)

【林野庁、「森林吸収源10ヵ年対策」を表明】

12月19日、林野庁は「地球温暖化防止森林吸収源10ヵ年対策」を発表。日本の森林吸収源3.9%を達成できるように、バイオマス対策を講じ、国内森林を複層林化したり、「緑の雇用」全国展開等で国内林整備を図る、大規模林道中止というもの。

環境省と三重県は、「排出量取引シミュレーション事業」をし、温室効果ガス削減量や森林整備でCo2吸収量の計算を始める予定。(日刊木材新聞等)

【高知県など各地で県産材利用の方向】

2月18日、高知県知事は「森林環境税」条例案発表。森林保全へ500円増の県民税にすると。また全国初の「間伐推進条例」も4月から施行。

2月17日、長野県は「長野県産材利用指針」策定。山梨県は、5月から県有林初のFSC森林認証となると。岩手県も「水と緑を守る条例」制定し、水源税検討。京都府も昨年10月末「緑の公共事業」策定。県産材利用へ秋田、岩手、埼玉、群馬、三重、石川、新潟、鹿児島、京都、長野、山梨等が進みだす。

(日刊木材新聞、各県HP情報より)

熱帯材丸太と南洋材製材品の入荷推移  
〔日刊木材新聞2003.3.1〕 単位: m<sup>3</sup>

年	熱帯材丸太		計	南洋材製材品
	南洋材	アフリカ材		
1998	3,192,231	152,672	3,344,903	776,896
99	3,403,726	202,009	3,605,735	921,764
2000	3,033,952	230,684	3,264,636	973,401
01	1,999,655	224,837	2,224,492	877,577
02	1,981,510	111,089	2,092,599	816,489

インドネシアの原木伐採量は、03年度は689万m<sup>3</sup>に達する見込み。インドネシア林業相は、このほど、03年度の原木伐採量(RK)を発表した。プラコザ林業相が昨年表明していた数値に近い689万2000立方尺と昨年の半分近くに落ちるものだが、実際のインドネシア原木消費量は、原木伐採量が多いカリマントン地区に次いでパプア(旧イリアンジャヤ)の伐採量が多いのも根拠が定かでない。ジャワ島を除く24地区の原木伐採量発給枠は別表のとおり。

インドネシアの(2003)各地区別原木伐採量  
単位: 1000m<sup>3</sup>

地区	数量
アチエ	136
北スマトラ	90
西スマトラ	74
リアウ	309
ジャンピ	153
南スマトラ	20
パンカプリトゥン	—
ベンクル	—
ランボン	—
バリ	—
西ヌサテンガラ	35
東ヌサテンガラ	—
西カリマンタン	402
中カリマンタン	1,315
南カリマンタン	66
東カリマンタン	1,865
北スラウエシ	40
中スラウエシ	185
南東スラウエシ	20
南スラウエシ	127
ゴロンタロ	84
マルク	227
北マルク	225
パプア	1,517

## 2002年度決算

収入		支出	
繰越金	340,978	会報製作費	187,550
会費	294,000	送料	40,269
カンパ	102,600	事務所家賃	144,000
物品販売	80,000	他団体への協賛金等	52,000
集会参加費	31,200	海外ゲスト招請費	134,345
その他	6,480	会場費	33,145
計	¥855,258	講師謝礼	8,000
		サラワク物品購入	34,300
		資料費	45,000
		雑費	29,491
2003年度へ繰越	¥147,158	計	¥708,100

## 森の救援基金 2002年度

収入		支出	
前年繰越金	983,702	交通費	107,900
カンパ	83,050	宿泊費	31,220
(個人5名団体4)		ブナン人の病院設立金	9,600
計	¥1,066,752	雑費	5,000
		計	¥153,720
2003年へ繰越	¥913,032		

【会費、カンパ等を頂いた方々】(2002年12月28日～2003年2月28日)

池田光司 市井晴也 伊東万千子 上田真弓 大東弘 大西裕子 大平浩子 奥村知亜子 越智清光 加賀瀬みどり 笠原英俊 春日直樹 菊池明子 北阪英一 小森富美枝 田岡めぐみ 田中順子 田村節子 中院彰子 千代延明憲 恒成和子 寺川庄蔵 中村義明 永田康二 永田展雄 西岡良夫 橋本征二 橋本宗央 原後雄太 伴正巳 平野誠 深尾葉子 福永一美 二木洋子 藤岡正雄 藤村はるえ 松本和子 宮澤朔子 山田光一 米澤興治 渡邊晋 (敬称略)

【切手カンパ】田中順子様

ありがとうございました。

【おたよりから】(敬称略)

- ★森に暮らす人々の声を大切にしたいものです。(池田光司)
- ★長く地道でパワフルな活動に敬意を表します。構造体、外・内壁とほとんど国産材のハンドメイドの家にや〜っと引っ越せました。まだ完成には程遠いですが。(市井春也)
- ★(前略)…参加する事も出来ないのですが、「ガンバレ」の気持ちだけお届けします。(伊東万千子)
- ★自治体キャンペーン、成果あがりましたね。喜んでます。(大西裕子)
- ★選挙看板の事気になっていたのですが、松原市にも聞いていただいてそのまま捨てていないことを知り、ちょっと安心しました。(小森富美枝)
- ★実際に活動されている方々が少ないにもかかわらず、よく実績をあげておられると感心しています。私どもも同じ状況ですが、刺激を受けて頑張らねばと思って、活動を続けています。これからも連携してやれるテーマは、協力してやりましょう。(千代延明憲)
- ★写真パネル借り料をお送りします。貴重な写真をありがとうございました。(松本和子)

# HUTAN ACTION SCHEDULE

◆ 4月20日(日) 12時30分～14時20分  
『サラワク先住民～原生林を守る知恵』

主催：ウータン・森と生活を考える会  
ところ／大阪ビジネスパーク・ツイン21ギャラリー内

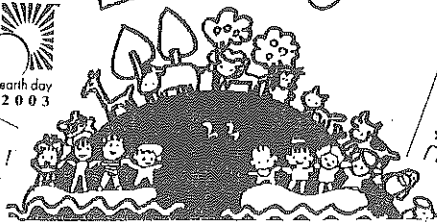
お問い合わせ：アースデイおおさか2003  
〒541-0046 大阪市中央区平野町3-1-7大阪屋セントラルビル6F GEC内  
Tel 06-6222-3263 Fax 06-6222-3262 E-mail gec@jade.dti.ne.jp

主催：アースデイおおさか2003  
後援：環境省、大阪府、大阪市（予定）  
協力・協賛：松下興産株式会社、松下電器グループ、GEC  
自治労大阪府本部

アースデイおおさか  
2003



みんな集まれ!!



つなげ未来へ!



- (HP) [www.005.upp.so-net.ne.jp/hutan/](http://www.005.upp.so-net.ne.jp/hutan/)
- ・活動報告 ・自治体キャンペーン
  - ・違法伐採キャンペーン ・原生林保護
  - ・ラミン調査会 など
  - 4月から新規作成は ・NGO等リンク
  - ・選挙板の熱帯材不使用キャンペーン
  - ・国際機関と取組み、サラワク関連等



とき 4月20日(日) 11:00～16:30 / ウータン主催コーナーは12:30～14:20  
ところ 大阪ビジネスパーク(OBP) ツイン21ギャラリー 参加費 無料  
JR・京阪 京橋駅、地下鉄鶴見緑地線 大阪ビジネスパーク駅より徒歩8分

## ウータン・森と生活を考える会



[OFFICE] 〒530-0015 大阪市北区中崎西1-6-36  
サクラビル新館308  
「関西市民連合」気付  
[HP] [www.005.upp.so-net.ne.jp/hutan/](http://www.005.upp.so-net.ne.jp/hutan/) Tel.06-6372-1561

【一部】300円 【年会費】4000円  
【郵便振替】00930-4-3880

- ◎購読希望の方は郵便振替で申し込み下さるか、又事務所までご連絡下さい。
- ◎ウータン定例会は、毎月、第2、第4火曜日7:00pmより「関西市民連合」事務所にて行っております。